

『アグリマルチセンシングSaaS 鳥獣害対策クラウド』 [株式会社富士通鹿児島インフォネット]

- 地域における鳥獣害対策の取り組みを効率化するため、クラウドが情報を繋ぎ、活動をサポートします。
- 捕獲実績や見回り情報(目撃や被害)の記録、地図システムに発生状況などの情報が見える化します。
- 複数の関係者間でスムーズな情報連携が、インターネットを介して、手間なく、いつでもどこでも可能です。

企業概要

(株)富士通鹿児島インフォネット(鹿児島) 099-206-6773

- 業務知識や知見、専門性、技術力をもって、お客様のビジネス基盤を構築するICT企業。農業システム提供は30年以上となり、ノウハウや実績を有しています。



機器情報

商品概要

◇鳥獣対策情報の管理、共有、利活用、地図化

- ・鳥獣害対策に関する情報を管理して、関係者で共有／利活用するシステム。
- ・地図システムの利用が特徴で、捕獲場所や設置場所など地図に表現。

使用目的

鳥獣情報の管理、見える化、情報共有や報告業務の効率化、各種記録の蓄積、罠設置場所の管理など

- **対象獣種** 獣種の限定はなく、システム利用可能

導入実績

導入箇所

- ・現在、鹿児島県および佐賀県の4自治体で正式運用中。
- ・無料トライアルを受付しており、ホームページからお問合せください。

導入効果

事例① 年間数千件になる捕獲実績の管理、報告業務が煩雑であったが、システムに情報登録する事で、業務が効率化。

事例② 地域の日撃情報や被害情報の共有をスムーズに行いたいとして、タブレットやスマートフォンから情報登録。捕獲計画の作成や生産者への営農指導に情報利用。

事例③ 点在して設置されている柵の設置情報を地図システムに登録。設置柵の定期的な設備点検をシステムで効率化。

活用技術

- ・クラウド
- ・データベース
- ・地図システム
- ・GIS
- ・GPS
- ・スマートデバイス
- ・インターネット

イニシャルコスト、ランニングコスト

イニシャルコスト	スタートアップサービス(2万円～)
ランニングコスト	年間サービス費用(36万円～)

※その他、各種オプションサービスも準備しております。ご要望により別途お見積り致します。

※商品詳細については、お気軽にお問合せください。



すべての製品が鳥獣被害防止総合対策交付金の支援対象となるわけではありません。

『鳥獣害対策システム』

〔西日本電信電話株式会社／東日本電信電話株式会社／株式会社日立製作所〕

○通信回線を使って、出没検知センサー、捕獲検知センサー、鳥獣忌避センサーをGISと連携し、**鳥獣の出没や捕獲状況をリアルタイムで通知（地理情報システムで各種データを可視化）**。

○出没履歴に基づく行動傾向や被害状況/対策情報の見える化により、**効果的な鳥獣害対策の立案を支援**。

企業概要

○西日本電信電話株式会社
設立年月日1999年7月1日
従業員数 3,300人

○東日本電信電話株式会社
設立年月日1999年7月1日
従業員数 4,900人

○株式会社日立製作所
設立年月日1920年2月1日
従業員数 33,490名
(2019年3月末日現在)

活用技術

▶ **活用技術**
・AI、LPWA、GIS

① **センサーの検知結果をメール発信**



② **鳥獣有無をAI自動判定**

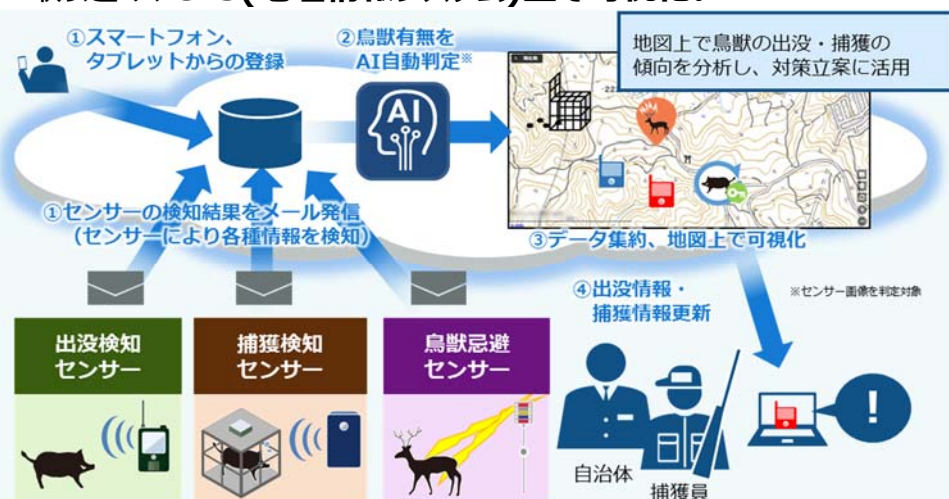


③ **情報集約、GISで可視化**

機器情報

機器の概要

・センサーやカメラから発報される**鳥獣の出没検知情報**や地域住民からの**目撃や被害に関する情報**を、LPWAやモバイル網を活用して取り込み、**GIS(地理情報システム)上で可視化**。



使用目的

・被害情報や出没情報等の可視化、蓄積により、**地域住民への情報共有**、今後の**傾向予測**、**ノウハウ伝承**に役立てる。

対象獣種

・イノシシ／シカ／サル／クマ、など

システム画面



<メイン画面>



<画像登録画面>

導入実績

※導入実績は、各社の実績を抜粋して記載したものです

▶ 長崎県五島市様

・捕獲実績が、**2016年度は30頭**だったのに対し、**システム導入後の2017年度は163頭**（約5.4倍）

<https://www.ntt-west.co.jp/news/1804/180411a.html>

▶ 某自治体

・農水省の補助金「鳥獣被害防止総合対策交付金」を活用し、システム導入

・住民が罾の見回り・捕獲活動。これまで実態が分からなかった**イノシシの出没を可視化**することで**捕獲活動を効率化**

▶ 日立ITエコ実験村

・IT技術が生態系保全にどのように役立つのか、実証・検証。IoTを活用した鳥獣害対策に取り組みとして稼働中。
<http://www.hitachi.co.jp/products/it/harmonious/geoaction100/iteco/index.html>

▶ 新潟県長岡市様

・自治体の鳥獣対策事業をサポートする株式会社ういること連携し、株式会社ういるこの診断事業データと各種センサーデータを一体管理するモデル事業を実証中。

※2019年度新規導入実績 5自治体

イニシャルコスト、ランニングコスト

※お客様の環境や、ご要望いただく要件によって変動しますので、担当者までお問い合わせください。

すべての製品が鳥獣被害防止総合対策交付金の支援対象となるわけではありません。

- クラウドで管理する統合ツール 鳥獣被害対策に必要なデータを収集・分析するクラウド型統合ツールです。
- スマートフォンで個体登録可能 撮影時に体長・体重は**自動推計(※1)**し、捕獲情報も自動記録！

(※1)自動推計はARCore対応のスマートフォンで撮影した場合です。

機器情報

機器の概要

スマートフォンから登録された鳥獣の捕獲データをクラウド管理により、リアルタイムで自動収集・分析をし、捕獲者と自治体の情報共有をスムーズ化するツールです。



※AIによる体重の自動推計はイノシシ・ニホンジカのみです

使用目的

捕獲情報の共有・管理
・捕獲個体の情報登録 ・捕獲、生息エリアの可視化

対象鳥獣

イノシシ、シカ、ハクビシン、サル、タヌキ、ヌートリア
アナグマ、アライグマ、その他獣類、鳥類

特長

捕獲従事者:アプリで簡単に登録～履歴情報を確認・圏外OK！・**最大3枚まで撮影可能**
自治体:リアルタイムで確認可能なため、**実態に即した、より有効な対策が容易に**



導入実績

導入市町村

愛知県、岩手県遠野市、岡山県高梁市
群馬県川場村・片品村、鹿児島県長島町etc...

イニシャルコスト、ランニングコスト

初期導入費用

60万円(税別)

基本料金

市区町村:年間20万円(税別)～

- ※年度単位のご利用となります。
- ※システム利用料には、別途端末が必要です。

問い合わせ先

RFJ株式会社
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町4-1
TEL 03-3527-2820 FAX 03-3527-2821

活用技術

AR(拡張現実)・GPS・GIS・インターネット・クラウド・スマートフォン

『鳥獣業務管理システム～ディアナ～』 [(一社)鳥獣管理技術研究所/(株)野生動物保護管理事務所/(株)野生鳥獣対策連携センター]

- 鳥獣対策の専門家が鳥獣対策業務用に開発したアプリで業務管理の実務を効率化できます
- わなの見回りなど、同じ場所で繰り返し行われる作業を紐づけて管理できます
- 非通信環境下でもアプリで「データの入力や保存」、「過去に登録したデータや地図の閲覧」ができます

企業概要

(一社)鳥獣管理技術研究所
東京都中央区日本橋2-1-17
070-2288-4036
<https://www.chojyugiken.or.jp>

(株)野生動物保護管理事務所
東京都八王子市小宮町922-7
東日本: 042-649-3570
西日本: 042-649-3965
<https://wmo.co.jp>

(株)野生鳥獣対策連携センター
兵庫県丹波市青垣町佐治94-2
0795-78-9799
<https://www.cho-jyu.jp>

機器情報

システムの概要

作業者がモバイルアプリで入力した作業の内容や写真などを管理者がWEB上でリアルタイムに確認・編集できるシステムです



使用目的

捕獲(捕獲個体記録、わな管理、日報)、生息調査、被害調査、センサーカメラ調査、ワクチン散布管理(豚熱対策)、防護柵の維持管理 等

活用技術

- モバイル端末との連携により、位置情報と時刻情報を自動的にデータに付与できます
- カメラアプリとの連動により、写真に位置情報・時刻情報・ハッシュ値を付与し、捕獲報告等の改ざんを防止できます
- 非通信環境下でも地図の閲覧・データの記録ができます

導入実績

徳島県

県の指定管理鳥獣捕獲等事業において捕獲者である猟友会の作業管理と捕獲報告に利用
→捕獲個体の確認、情報のデータ化と共有、捕獲の効果検証等の業務が省力化

岐阜県経口ワクチン対策協議会 等

県のワクチン散布(豚熱対策)事業において散布場所や散布情報の記録に利用
→作業者の安全管理、散布情報のデータ化と共有、散布の効果検証等の業務が省力化

某市

アライグマ対策として市が実施する箱わなの設置と捕獲の記録に利用
→捕獲効率など分析用のデータ作成が省力化

兵庫県内森林組合

防護柵と植栽木の見回り点検の記録および労務管理に利用
→作業のデータ化、労務管理が省力化

機器の画像

モバイルアプリの画面



イニシャルコスト、ランニングコスト

- **イニシャルコスト** 30万円/年(税別)
 - **ランニングコスト** 20万円/年(税別)
- 費用には以下が含まれます
- ・10ユーザーまでの利用料金
 - ・サポート窓口の利用料金

ご要望に応じて研修会等も実施しています(費用は別途見積)

- 捕獲者が捕獲場所で、アプリの**項目をタップ**することで、書類作成、画像処理、行政への書類提出を自動で完了
- GPSによる捕獲場所、日時の自動生成(**様々な不正防止機能を搭載**)
- 管理者システムでは、捕獲者から送信されたデータを**簡単に帳票化・集計可能**

機器情報

➤ 機器の概要

・スマホアプリで簡単帳票作成、捕獲データを一元管理、分析、可視化する専用システム

➤ 使用目的

- ・捕獲情報のデータ一元管理
- ・書類作業時間の短縮
- ・捕獲従事者による、誤申請や重複個体の防止・抑制
- ・鳥獣の出没や被害状況の**情報を一元可視化**
※捕獲従事者でない一般の方でも情報を簡単に送ることができます

➤ 対象鳥獣

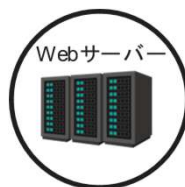
・イノシシ、ニホンジカ、ニホンザル、アライグマ等全ての鳥獣類

➤ 特長

- ・アプリの**簡単操作(タップ)**で書類作成。様々な不正防止機能を搭載。
- ・捕獲写真や位置情報はもちろん、**画像の・鳥獣の出没や被害状況の情報を一元可視化**
※捕獲従事者でない一般の方でも情報を簡単に送ることができます
- ・電波のない場所でも使用可能
- ・**わな設置位置の一元可視化**



スマホアプリからかんたんタップ入力！



サーバーに情報を送信！



PCから情報を一元管理！

1物件1頭あたり約95%作業時間削減！

導入実績

➤ 導入市町村

- ・長崎県内一部市町村・岩手県内一部市町村
- ・山梨県内一部市町村・北海道内一部市町村
- ・一部広域捕獲事業(一部猟友会・認定捕獲等事業者)
- ・一部指定管理捕獲等事業(一部猟友会・認定捕獲等事業者)
- ・一部森林管理所委託業務(認定捕獲等事業者)
- etc

イニシャルコスト、ランニングコスト

捕獲従事者用アプリは完全無料

➤ イニシャルコスト

・30万円～

➤ ランニングコスト

・4・5万円～

活用技術

- ・PHP、MySQL、Linux、GPS等 ・各種ログ保存(修正履歴、IPアドレス追跡)等
- ・写真データの位置情報、端末情報等のメタデータの取得・送信等(整合性チェック機能)(不整合時には捕獲者には通知されず、管理者のみが確認できる設計)

問い合わせ先

企業名：
株式会社TMTグループ
所在地：(鳥獣対策・システム開発事業部)
群馬県邑楽郡千代田町赤岩1179-3
連絡先：
admin@rakulog.site(メール)
0276-60-4345(電話)
<https://rakulog.site>(webサイト)

- スマートフォン上の地図で鳥獣の出没や捕獲に関する情報を共有可能。
- 地域内でイノシシ・シカ・サル・クマなどの出没情報を登録・共有することで農作物被害の早期発見・対策や、野生生物との接触事故防止などに活用可能。

機器情報

機器の概要

スマートフォン上の地図で鳥獣の出没や捕獲に関する情報を共有できるアプリケーション

使用目的 情報活用

地域内でイノシシ・シカ・サル・クマなどの出没情報を登録・共有することで、農作物被害の早期発見・対策や、野生生物との接触事故の防止などに活用可能。

対象鳥獣

イノシシ・シカ・サル・クマなど
(くくりわな・箱わな・囲い罠)



特長

管理者専用ページにて捕獲や出没の一元管理、ユーザーのアクセスログ解析、CSVダウンロード等ができ、ほかパトとの連動も可能

もくげき 農家・住民・観光客むけ

● 鳥獣被害の早期発見・対策に ● 車衝突の防止に ● 人的被害の防止に

市民

農家

観光客

もくげき投稿



ほかく 捕獲従事者・ジビエむけ

● 見回り労力軽減に ● 早期処理に ● ジビエ利活用に ● 捕獲場所の選定に



ほかく報告



導入実績

導入実績

●五島市様(長崎県)

自治体職員・捕獲従事者・農家・住民などがアプリを活用

●大町市様(長野県)

主にサルの出没状況をもくげきマップに記録。マップの記録から捕獲場所の選定や餌付けのエサの選定に活用

●全国30自治体、組織で活用中

イニシャルコスト、ランニングコスト

イニシャルコスト

50万円(税別)

ランニングコスト

18万円/年(税別)~※
※ユーザー数により変動

問い合わせ先

企業名: 株式会社アイエスイー
所在地: 三重県伊勢市
連絡先: 電話 0596-36-3805

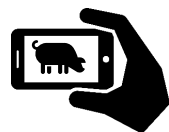
活用技術

クラウド、データベース、地図システム、インターネット

- スマホで捕獲報告！**写真の印刷や報告用紙の管理が不要！
- 7名中6名の猟師が「これなら使えそう」・「使いたい」と答えた画面設計。**
- 入力漏れ・ミスも激減、行政における提出内容の確認や集計作業効率を大幅改善！**
- AIが捕獲者からの質問に対応。**問い合わせ対応業務を省力化

機器情報

捕獲者はスマホで捕獲した個体を撮影し、情報を入力するだけで、自治体への捕獲報告を、印刷・提出せずにWeb上で実現するシステムです。



スマホで報告！写真印刷や郵送不要。



自治体はPC等で報告を確認。自動で集計も可能。

特徴その1

簡単操作可能なUI設計

実際にある地域の猟師の方々
に使用していただいた際の
アンケートでは、7名中6名が
使えそう・使いたいと回答！

特徴その2

AIが質問へ対応

捕獲者・地域住民からの
質問にAIが対応。
問い合わせ対応に
要する時間を大幅に削減。



※オプション機能

その他特徴

- ・捕獲情報をジビエのトレーサビリティとして利用可能。ジビエ利活用を促進
- ・罠監視センサー(スマートトラップ)と連携し捕獲から報告まで一気通貫でデジタル化

活用技術

- マルチデバイス対応でPC・スマートフォン・タブレットを問わず使用可能
- GPS技術を利用することで、捕獲報告の位置情報をより精密に把握
- Webで動作するため、専用アプリをインストールせずに使用可能

導入実績

◆兵庫県

・狩猟期の事業内で県全域にて導入

◆兵庫県南あわじ市、埼玉県横瀬町

・町内加工施設を起点に捕獲情報を電子化

◆その他

・福島県、福島県大熊町、福島県南相馬市等

インシャルコスト、ランニングコスト

◆年額20万円～

※カスタマイズの内容、利用期間・規模に応じてお見積りが必要となりますので、まずはお気軽にお問い合わせください

問い合わせ先

株式会社huntech
〒153-0061
東京都目黒区中目黒3-6-2 5F
info@huntech.jp

- スマートフォンアプリでのDX化による、猟師の現場での捕獲申請書類作成業務の簡便化
- クラウドの管理コンソールによる市町村受付業務などの可視化、リアルタイム化
- 高齢者向けスマートフォン対応、撮影ガイドンス表示、不正申請防止機能を搭載

機器情報

➤ 機器の概要

スマートフォンアプリで捕獲写真・位置情報を含めた捕獲申請、出猟目撃、わな設置撤去情報をクラウドサーバに送信。

クラウドの管理コンソールでリアルタイムで市町村担当者が確認。申請状態や捕獲位置情報を可視化。

集計データはエクスポート機能でダウンロード可能。捕獲効率化の分析をサポート。

➤ 使用目的

情報活用

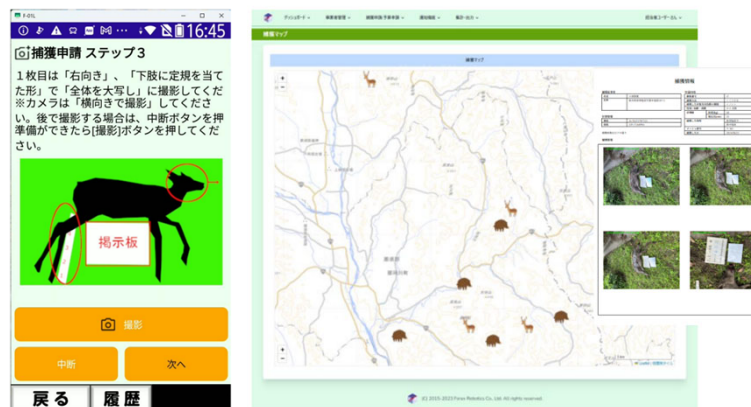
➤ 対象鳥獣

シカ、イノシシ、クマ、サル、アライグマ、ハクビシン、キツネ、タヌキ、アナグマ

➤ 特長

- ・高齢の狩猟者にも扱えるよう「高齢者向けスマートフォン」に対応。
- ・撮影時のガイド表示機能。
- ・不正申請防止用に独自カメラ機能搭載。

「いのしかレコード」 サービス概要



導入実績

➤ 導入市町村

栃木県 那須塩原市
大田原市
他

2024年度導入実績 3自治体

イニシャルコスト、ランニングコスト

➤ イニシャルコスト

- システム、スマートフォンアプリともに無料

➤ ランニングコスト

- 年間利用料+捕獲実績50件 12万円(税別)
- 追加捕獲申請50件 4万円(税別)

※捕獲頭数の多い地区に関しては別途お見積いたします。

活用技術

iOS版・Android用スマートフォンアプリ、位置情報、アプリ内での画像入れ替え防止

問い合わせ先

企業名 Forex Robotics株式会社
所在地 千葉県船橋市本中山6-8-12-2
連絡先 050-3159-6679 担当高橋

鳥獣捕獲・報告業務のICT化による業務効率化ツール

- 全国的に深刻化する鳥獣被害に対し、狩猟者と行政の双方で捕獲・管理体制の維持が課題となっている
- 本製品は、従来の紙ベース報告を、スマートフォンやPCを活用したICTベースへと転換し、報告業務の簡素化・効率化を実現するツールである。

機器情報

➤ 機器の概要

- ・狩猟者および行政管理者向けの鳥獣捕獲報告支援システム
- ・専用IDとPWでログインし、スマートフォンによる写真撮影と入力で報告書を自動生成する機能を備える
- ・PC・スマートフォンの双方に対応

➤ 使用目的

- ・各都道府県、市町村の鳥獣対策部門に対し狩猟者の報告業務を簡素化し、行政の集計管理業務の効率化する

➤ 対象鳥獣

- ・クマ、シカ、サルなど

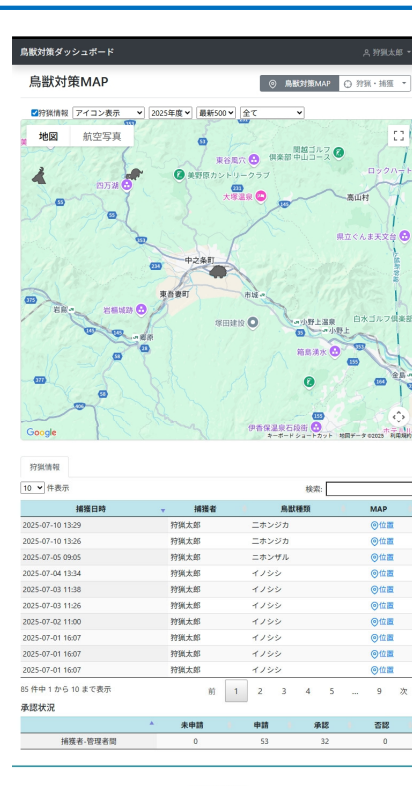
➤ 特長

狩猟者のメリット

- ・スマートフォンから簡単に申請等が可能
- ・AIによる自動分析機能で捕獲記録が自動整理

行政管理者のメリット

- ・報告状況を一元管理し、行政処理の効率化を実現
- ・地区別・獣種別・月別などでデータを自動集計・分析



導入実績

- 導入市町村
埼玉県飯能市、
鳥取県大山町 他

イニシャルコスト、ランニングコスト

- イニシャルコスト:
1,500,000円(税抜)~(導入後5年間)
- ランニングコスト:
導入から6年目以降330,000円

活用技術

- ・対応ブラウザ: Google Chrome、Microsoft Edge、Firefox、Safari
- ・活用技術: AI画像解析、位置情報(GPS)活用

問い合わせ先

企業名: 株式会社電信
所在地: 徳島県徳島市川内町平石若宮121-1
連絡先: 営業統括部 山崎主計
E-mail: yamasaki@densin.co.jp

多様な鳥獣被害情報を一元管理・可視化

- 被害/捕獲/目撃/痕跡/わな/柵など、7種類の情報を地図上にアイコン表示
- 現場でのスマホ入力とWeb管理画面でのGIS表示が連携
- 各情報に画像・日時・位置情報・獣種・詳細情報を紐づけて記録

機器情報

➤ 機器の概要

GISツールによる鳥獣被害対策の可視化・分析システム

➤ 使用目的

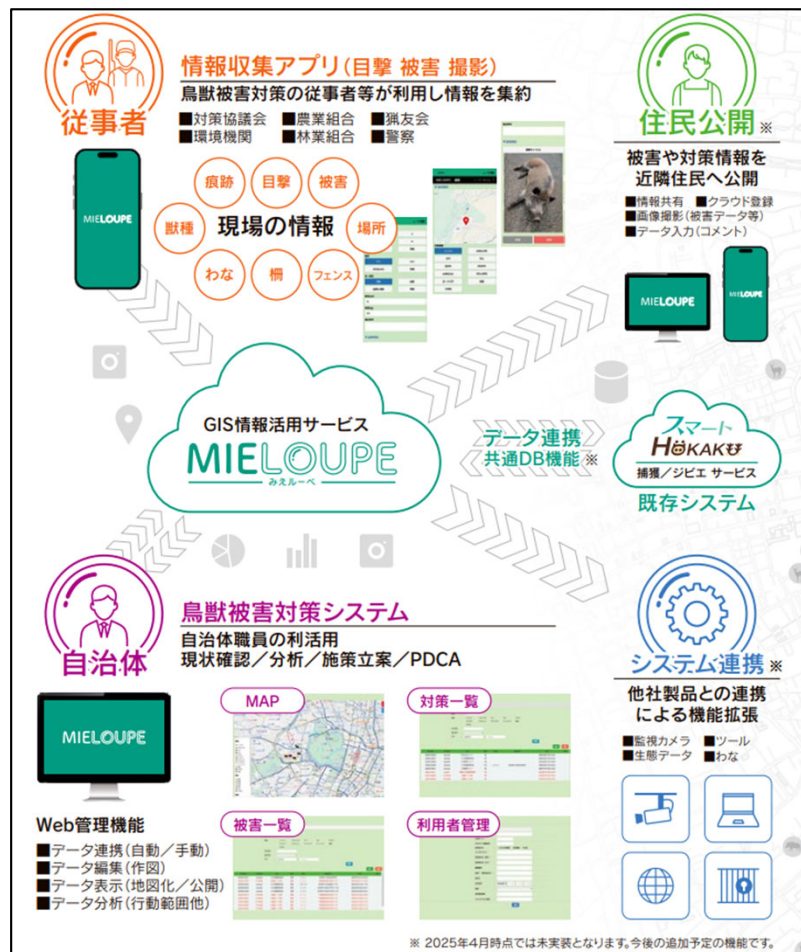
鳥獣被害情報の可視化

➤ 対象鳥獣

シカ、イノシシなど鳥獣全般

➤ 特長

- ・鳥獣被害情報のデータ集約・管理
鳥獣の生息地や被害情報等を一元管理し、情報の検索や整理を迅速化
- ・対策の計画
地図上での可視化により、効果的な対策（柵の設置や捕獲地点の選定）の計画が可能
- ・モニタリング
被害状況や対策の効果をリアルタイムで把握でき、データ収集や分析が容易
- ・関係者間の情報共有
GISマップにより情報共有がスムーズ



導入実績

➤ 導入市町村

群馬県片品村
群馬県川場村
鹿児島県鹿屋市など

➤ 導入効果

- ・クラウド化により事務作業30～50%の軽減、
- ・農協、地区組織とのリアルタイム情報共有により、限られた人員でも被害状況の確認や対策等が可能

イニシャルコスト、ランニングコスト

➤ イニシャルコスト

50万円(税別)

➤ ランニングコスト

年間利用料: 10万円(税別)

問い合わせ先

企業名: RFJ株式会社
所在地: 東京都千代田区紀尾井町4番1号
新紀尾井町ビル3階
連絡先: (TEL) 03-3527-2820 (FAX) 03-3527-2821

活用技術

地理情報システム (GIS)、スマートフォンアプリ